

カトリック入門講座 (2回)

神は、私たちに日常生活の中で、様々な形で呼びかけている。信仰生活とは、その呼びかけに気づいて、それに答えて生きること。感性やこころが大切……。心が動かされること。

- 1) 神がミサへ参加することを呼びかける・・・ 各自の応答 ⇒ ミサへ参加する
典礼聖歌 ♪「喜びに、心をはずませ、神の家に行こう。・・・」 詩編

いのちを大切に作る神は、いのちの出発点だけでなく、いのちを健やかに成長させる手立てを、人生の節目と共に用意している。最後にこの世界から神の元へ連れてゆくまで⇒ 安息に入る。

呼びかける神：旧約時代 アブラハムの召命と移住 創世記 12：1～(旧 P15～)
モーセの召命 出エジプト記 3：1～(旧 P96～)
サムエルへの主の呼びかけ サムエル記 上 3：1～(旧 P432～)
エレミヤの召命 エレミヤ書 1：1～(旧 P 1172～)

新約時代 4人の漁師を弟子にする マルコ福音書 1：16～(新 P. 61)

- 2) 会衆が積極的に参加するとは・・・

第二バチカン公会議の典礼憲章 14項

「母なる教会は、すべての信者が、典礼の挙行への、・・・行動的な参加へ導かれるよう切に希望している。」 特別な役を引き受ける(聖書朗読、聖歌隊、侍者、奉納行列など) ことだけではない。一人ひとりの信者の参加態度が積極的になる。(ミサが生活の中に生きてくる!!)

- ◎ 背筋を伸ばし、姿勢を正す。
- ◎ 聖書朗読は、朗読者を見ながら耳で聞く。あるいは、「聖書と典礼」を見ながら・・・
- ◎ 「アーメン」「神に感謝」など、応答は力強く、意識して言う。
- ◎ 事前にミサの朗読箇所を読んで、準備をするなど。

- 3) ミサの主役はキリストともう一つの主役は会衆。司祭はキリストの代理人、かつ会衆の代表者。

- 4) なぜミサにゆくのか? ミサは行くこと自体に意味がある。 たとえば、葬儀に参列する時

- 5) ミサに出かけてゆく 教会が遠いのも悪くない。・・・準備の時間となる。伊勢神宮のお参り

参考文献 「目からウロコ ミサのあずかり方」 来住英俊著 女子パウロ会 800円+税